



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 セーフィー株式会社 上場取引所 東
コード番号 4375 URL https://safie.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐渡島 隆平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 兼 CFO (氏名) 古田 哲晴 TEL 03-6311-4570
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|--------------|-------|------|------|---|------|---|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期中間期 | 6,845 | 26.2 | △302 | - | △329 | - | △1,171 | - |
| 2023年12月期中間期 | 5,425 | - | △439 | - | △438 | - | △438 | - |

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 △1,177百万円 (-%) 2023年12月期中間期 △438百万円 (-%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|--------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期中間期 | △21.19 | - |
| 2023年12月期中間期 | △8.08 | - |

(注) 1. 2022年12月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年12月期中間期 | 10,692 | 8,923 | 8,923 | 8,923 | 83.1 |
| 2023年12月期 | 11,701 | 10,016 | 10,016 | 10,016 | 85.6 |

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 8,889百万円 2023年12月期 10,012百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 2024年12月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2024年12月期（予想） | - | - | - | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 売上総利益 | | 調整後営業利益 | |
|----|--------|------|-------|------|---------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通期 | 14,200 | 20.2 | 7,070 | 24.7 | △850 | - |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aにより生じた無形資産の償却費用

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) Kix株式会社、SAFIE VIETNAM CO., LTD.

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年12月期中間期 | 55,344,850株 | 2023年12月期 | 55,256,695株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年12月期中間期 | 19,774株 | 2023年12月期 | 14,293株 |
| ③ 期中平均株式数(中間期) | 2024年12月期中間期 | 55,271,446株 | 2023年12月期中間期 | 54,316,607株 |

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

当社は、2024年8月9日(金)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料及び動画情報は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) キャッシュ・フローの状況 | 3 |
| (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 5 |
| 中間連結損益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 5 |
| 中間連結包括利益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 6 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (連結範囲の重要な変更) | 8 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「映像から未来をつくる」をビジョンに掲げ、家から街まであらゆるシーンの映像をデータ化することで、人々の意思決定を支援するクラウド録画型映像プラットフォーム「Safie（セーフイー）」を開発・運営しております。「Safie」は高画質・安価・安全で、誰でも簡単にスマートフォンやパソコンで使える防犯カメラサービスとして、小売・飲食・サービス・建設・物流・製造・インフラ・公共・医療などの幅広い業界で活用いただいております。日本国は2040年には働き手が現在の8割になるという「8掛け社会」が到来する（注1）と推定され、人口減少から生じる労働供給制約社会を迎えることは確実であり、人々の生活に多大なる影響を及ぼすと考えられています。「Safie」では近年高まる防犯カメラとしての用途にとどまらず、遠隔での状況確認や業務ツールとの連携による業務効率化、AIを活用した映像解析による異常検知・予測などのニーズが急速に拡大しており、このような労働力不足をはじめとする社会的な課題を解決できるソリューションの開発、提供を進めております。

労働力不足に備え、デジタル庁は業務の生産性を高め技術革新を促進することを目的に、デジタル技術の活用・業務効率化を妨げる「アナログ規制」を見直す方針を公表しており、規制の緩和・撤廃が進んでいます。例えば、建築・住宅・インフラ業界では、2024年6月に厚生労働省が「目視規制」について、デジタルツールを活用した「遠隔巡視」を可能とする旨の通知を行いました。セーフイーが提供するウェアラブルクラウドカメラ「Safie Pocket2（セーフイー ポケット ツー）」・「Safie Pocket2 Plus（セーフイー ポケット ツー プラス）」は性能要件を満たしており、屋外向けクラウドカメラ「Safie GO 360（セーフイー ゴー サンビャククロクジュウ）」と併用することで、事業者の負担を軽減かつ安全性を確保する「遠隔巡視」の広がりが期待されています。

当中間連結会計期間では、小売・サービス業を中心に、AIソリューション「AI-App（アイアップ）」の人数計測機能の導入が広がっています。スーパーマーケットでは、カメラ映像から人数を計測することによって、入店者数、回遊率、売上の拡大を目的とした店舗内レイアウトづくりへ役立てている事例もあります。他にも、全国各地の店舗管理を遠隔から映像で指示する「遠隔臨店」やPOSレジを連携したレジ周りのトラブル抑止・解決など、クラウドカメラの導入により様々な用途での活用が広がりを見せています。また、当社グループが出資したタイムリープ株式会社が提供する遠隔接客サービス「RURA（ルーラ）」の接客画面と「Safie」の映像を同時に確認ができる遠隔接客ソリューション「RURA（SF）（ルーラ エスエフ）」の提供を開始しました。これにより、俯瞰的な店舗状況を十分に考慮した遠隔接客の実現や接客の機会ロスを削減ができるなど、より一層、店舗の省人化や接客品質向上などの顧客課題の解決に取り組んでまいります。加えて、パートナー協業先である東日本電信電話株式会社宮城事業所が主体となって進めている仙台市の「診療カーによるオンライン診療サービス」に同じくパートナー協業先であるMUSVI株式会社と参画し、テレプレゼンスシステム「窓」を通じて、将来の医師不足や高齢化に備え地域医療の向上や医療人材・リソースの有効活用を推進しています。このように多様化する顧客のニーズを起点としたソリューションのバリエーションを着実に広げることにも貢献しています。

当社KPIであるARRは2024年6月末時点で10,230百万円（2023年6月末比26.4%増、注2）、課金カメラ台数は26.0万台（2023年6月末比25.6%増、注3）になりました。

カメラ等の機器販売や設置作業費などが含まれるスポット収益は1,939百万円となり、クラウド録画サービス、一部のカメラのレンタルサービスや、LTE通信費、画像解析サービス等を含むリカーリング収益は4,906百万円となりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高6,845,874千円（前年同期比26.2%増）、営業損失302,262千円（前年同期は営業損失439,021千円）、経常損失329,506千円、（前年同期は経常損失438,988千円）となりました。また、本日公表しております「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、投資有価証券評価損827,568千円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する中間純損失1,171,233千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失438,896千円）となりました。

なお、当社グループは、映像プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注) 1. 出典元：リクルートワークス研究所：「未来予測2040 労働供給制約社会がやってくる」
2. ARR：Annual Recurring Revenue。対象月の月末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。MRRは対象月末時点における継続課金となる契約に基づく当月分の料金の合計額（販売代理店経由の売上を含む）。
3. 課金カメラ台数は、各四半期に販売したカメラ台数ではなく、各四半期末時点で稼働・課金しているカメラ台数。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は10,057,145千円となり、前連結会計年度末に比べ197,162千円減少いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が46,109千円増加、流動資産のその他が81,842千円増加した一方で、現金及び預金が350,372千円減少したことなどによるものであります。

当中間連結会計期間末における固定資産は634,753千円となり、前連結会計年度末に比べ812,188千円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が812,398千円減少したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は10,692,584千円となり、前連結会計年度末に比べ1,008,947千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は1,718,810千円となり、前連結会計年度末に比べ93,271千円増加いたしました。これは主に、買掛金が107,138千円増加したことなどによるものであります。

当中間連結会計期間末における固定負債は50,034千円となり、前連結会計年度末に比べ9,018千円減少いたしました。これは主に固定負債のその他が8,190千円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は1,768,844千円となり、前連結会計年度末に比べ84,253千円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は8,923,740千円となり、前連結会計年度末に比べ1,093,200千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失1,171,233千円を計上したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.1%（前連結会計年度末は85.6%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ350,372千円減少し、6,766,335千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は343,233千円（前年同期は944,375千円）となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失1,171,998千円の発生（前年同期は436,994千円の税金等調整前中間純損失）、投資有価証券評価損の計上827,568千円（前年同期は該当なし）などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は47,319千円（前年同期は107,922千円）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出24,319千円（前年同期は65,304千円）、有形固定資産の取得による支出14,494千円（前年同期は58,620千円）、敷金の差入による支出8,079千円（前年同期は178千円）などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は40,180千円（前年同期は109,219千円）となりました。これは主に、非支配株主からの払込みによる収入30,000千円（前年同期は該当なし）、新株予約権の行使による株式の発行による収入9,702千円（前年同期は120,185千円）などによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|--------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,216,707 | 6,866,335 |
| 売掛金及び契約資産 | 1,713,219 | 1,759,328 |
| 電子記録債権 | 10,300 | 17,100 |
| 商品 | 968,061 | 985,505 |
| その他 | 349,749 | 431,591 |
| 貸倒引当金 | △3,730 | △2,715 |
| 流動資産合計 | 10,254,307 | 10,057,145 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | — | 209 |
| 投資その他の資産 | 1,446,942 | 634,543 |
| 固定資産合計 | 1,446,942 | 634,753 |
| 繰延資産 | 282 | 685 |
| 資産合計 | 11,701,532 | 10,692,584 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 702,369 | 809,507 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 91,656 | 91,656 |
| 未払法人税等 | 53,602 | 53,091 |
| 賞与引当金 | 30,000 | 47,940 |
| その他 | 747,911 | 716,615 |
| 流動負債合計 | 1,625,538 | 1,718,810 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,548 | 1,720 |
| その他 | 56,504 | 48,314 |
| 固定負債合計 | 59,052 | 50,034 |
| 負債合計 | 1,684,591 | 1,768,844 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,584,350 | 5,609,348 |
| 資本剰余金 | 8,069,732 | 8,094,731 |
| 利益剰余金 | △3,642,070 | △4,813,304 |
| 自己株式 | △167 | △191 |
| 株主資本合計 | 10,011,844 | 8,890,584 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,144 | 712 |
| 為替換算調整勘定 | — | △1,539 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,144 | △827 |
| 新株予約権 | 3,952 | 7,797 |
| 非支配株主持分 | — | 26,186 |
| 純資産合計 | 10,016,941 | 8,923,740 |
| 負債純資産合計 | 11,701,532 | 10,692,584 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 5,425,142 | 6,845,874 |
| 売上原価 | 2,750,754 | 3,438,276 |
| 売上総利益 | 2,674,388 | 3,407,598 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,113,409 | 3,709,861 |
| 営業損失(△) | △439,021 | △302,262 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11 | 27 |
| 受取補償金 | — | 1,453 |
| 投資事業組合運用益 | 12,449 | — |
| 業務受託料 | 218 | 726 |
| その他 | 1,383 | 737 |
| 営業外収益合計 | 14,062 | 2,944 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 135 | 222 |
| 持分法による投資損失 | 9,229 | 14,554 |
| 為替差損 | 3,363 | 8,467 |
| 投資事業組合運用損 | — | 2,823 |
| その他 | 1,302 | 4,121 |
| 営業外費用合計 | 14,030 | 30,189 |
| 経常損失(△) | △438,988 | △329,506 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産受贈益 | 1,994 | — |
| 特別利益合計 | 1,994 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 14,923 |
| 投資有価証券評価損 | — | 827,568 |
| 特別損失合計 | — | 842,491 |
| 税金等調整前中間純損失(△) | △436,994 | △1,171,998 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,901 | 3,048 |
| 法人税等合計 | 1,901 | 3,048 |
| 中間純損失(△) | △438,896 | △1,175,047 |
| 非支配株主に帰属する中間純損失(△) | — | △3,813 |
| 親会社株主に帰属する中間純損失(△) | △438,896 | △1,171,233 |

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|----------------|--|--|
| 中間純損失(△) | △438,896 | △1,175,047 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △90 | △432 |
| 為替換算調整勘定 | — | △1,539 |
| その他の包括利益合計 | △90 | △1,971 |
| 中間包括利益 | △438,986 | △1,177,018 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | △438,986 | △1,173,205 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | — | △3,813 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純損失 (△) | △436,994 | △1,171,998 |
| 減価償却費 | 1,476 | 825 |
| 減損損失 | — | 14,923 |
| 株式報酬費用 | 14,890 | 19,330 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 631 | △1,014 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 11,678 | 17,940 |
| 受取利息 | △11 | △27 |
| 支払利息 | 135 | 222 |
| 受取補償金 | — | △1,453 |
| 業務受託料 | △218 | △726 |
| 投資事業組合運用損益 (△は益) | △12,449 | 2,823 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 827,568 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 9,229 | 14,554 |
| 固定資産受贈益 | △1,994 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △265,547 | △52,909 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △189,336 | △17,677 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △151,508 | △95,977 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 102,050 | 107,138 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 95,139 | 10,077 |
| その他 | △127,943 | △14,713 |
| 小計 | △950,772 | △341,094 |
| 利息の受取額 | 10 | 27 |
| 利息の支払額 | △135 | △222 |
| 補償金の受取額 | — | 1,453 |
| 業務受託料の受取額 | 218 | 726 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | 6,303 | △4,123 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △944,375 | △343,233 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △100,000 | — |
| 定期預金の払戻による収入 | 100,000 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △65,304 | △24,319 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △58,620 | △14,494 |
| 投資事業組合からの分配による収入 | 16,181 | — |
| 敷金の差入による支出 | △178 | △8,079 |
| その他 | — | △425 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △107,922 | △47,319 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △10,966 | △828 |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | — | 30,000 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 120,185 | 9,702 |
| 新株予約権の発行による収入 | — | 1,330 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △24 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 109,219 | 40,180 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △943,078 | △350,372 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,671,628 | 7,116,707 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 7,728,550 | 6,766,335 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、Kix株式会社及びSAFIE VIETNAM CO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。